

富士宮高校会議所

高校生ボランティア・アワード2023

SDGs実践「マスマス元肥（げんぴ）を使って、富士宮をマスマス元気に！！」

～SDGs実践活動を行い、持続可能な社会創りを行う～



令和4年8月28日
富士宮高校会議所プレゼンツ
「音楽で、地域を元気に！！」



富士宮高校会議所
Fujinomiya High School Chamber

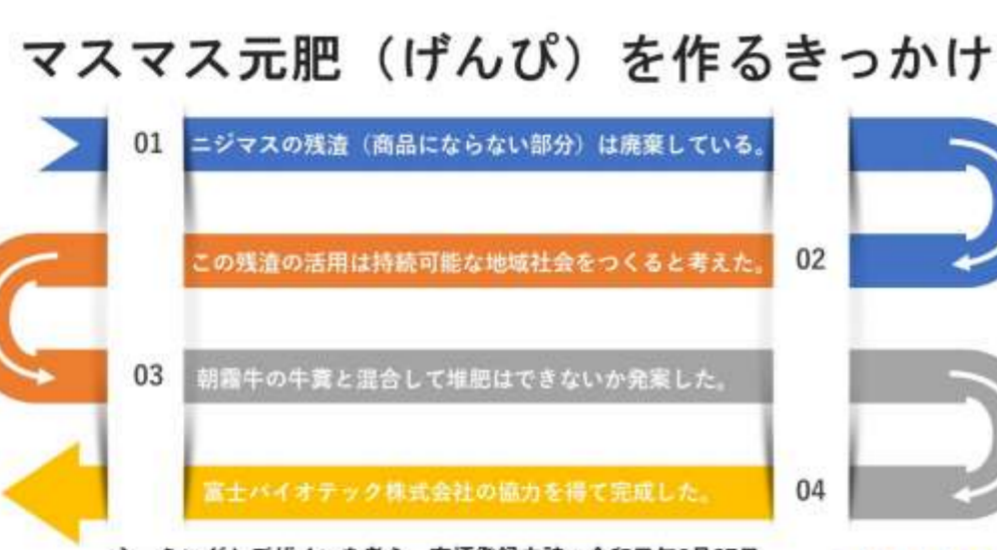
SDGs実践推進パートナー
富士山SDGs推進パートナー

ニジマスの残渣と朝霧牛糞からの牛糞による堆肥の有効活用可能性について
～SDGs実践・炭素削減活動に向けて～

日付	8/1～7	8～14	15～21	22～31	合計	平均(週)	平均(日)
富士宮全体	3,920	3,740	5,680	6,460	19,800	4,950	638.7

一か月に約20t
平成30年度 全体で204トン、廃棄処理代32,400円

完成品
デザインは、新橋啓輔
令和2年6月18日許可済
マスマス元肥 48.7% 0.90% 1.70% 0.90%
通常堆肥と比較して肥料の3大元素、77分は、ほぼ同じであるが、7分が8.4倍、39.6分が6.4倍多いなどの理由から肥料として大変有望だとおもわれます！7分は、花、実等に有効な成分、39.6分は、根に良い効果があります！



チャレンジ1 実際の肥料製造の様子
ニジマスの残渣と牛糞はほぼ半分ずつ加える。製造期間は一か月ほど
富士バイオテック株式会社との協力を得て製造した。

チャレンジ2 ショコラティエの田中克典さんと商品開発に向けて意見交換会
ビジネス(Business)
マスマス元肥を活用して栽培した富士宮の特産品落花生を利用し落花生チョコレートの作成、販売
マスマス元肥を活用して栽培した落花生と自家製チョコレートを使用した「森林限界を越えて」のスイーツの作成
令和4年9月24日開催

チャレンジ3 SDGsアイデアコンテスト
持続可能な社会を創るための第3回SDGsアイデアコンテストを主催しました。また、「マスマス元肥」を活用した野菜等の栽培加工も募集しました。
アイデアを募集することで、「マスマス元肥」の普及及び商品化に向けての取組の一助となる。
富士宮市の緑化推進の一助となる。
SDGsコンテスト表彰式
令和4年12月19日

チャレンジ4 SDGs自由研究講座開催
小学生に向けて、SDGsの重要性、マスマス元肥（げんぴ）を活用した持続可能な社会創りについて、3回目的夏休み自由研究講座を開催した。

チャレンジ5 クラウドファンディング
マスマス元肥（げんぴ）を用いて持続可能な社会を創るためクラウドファンディングにチャレンジし、目標達成しました。
高校生が元気に、富士宮をさらに元気にするために
クラウドファンディングにチャレンジ
令和3年4月24日スタート、6月末に達成

チャレンジ6 耕作放棄地をマスマス元肥（げんぴ）を使ってよみがえらせよう。
耕作放棄地に、マスマス元肥（げんぴ）を使って、野菜等の栽培チャレンジを富士宮市民に呼びかけました。
高校生が元気に、富士宮をさらに元気にするために
記者発表を行い情報発信を行いました。
令和4年4月23日

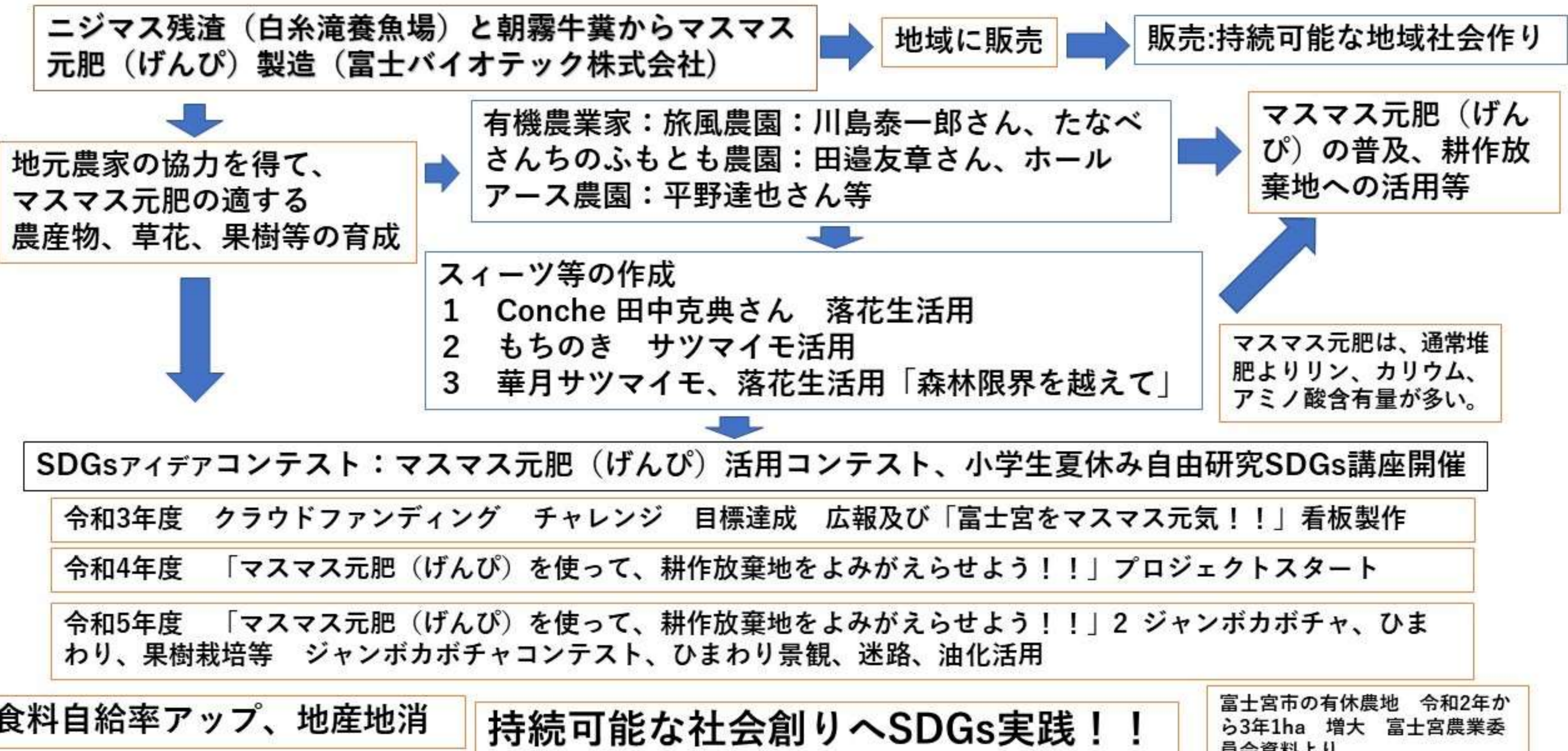
チャレンジ7 マスマス元肥（げんぴ）を使って栽培した落花生を使ったスイーツ作成
電王戦「おやつ」コンテストに、華月さんとコラボして応募しました。
「森林限界を越えて」新たな富士の物語への挑戦～
Beyond the forest limit of Mt. Fuji～
読売新聞全国版にも掲載されました。感謝です。

チャレンジ8 様々な情報発信活動を行っています。
マスマス元肥（げんぴ）を使って、持続可能な社会創りを折に伝えて、富士宮市民に呼び掛けました。
この活動が、SDGsパートナーシップBOOKに、掲載されました。また、2022グッドデザイン賞を受賞しました。（令和4年11月4日）
イベント富士山SDGs推進パートナーに選ばれイベントで発表したり、講師のたがまっちゃんさんと交流しました。（令和4年12月12日）

チャレンジ9 耕作放棄地をマスマス元肥（げんぴ）を使ってよみがえらせよう第II弾。
耕作放棄地に、マスマス元肥（げんぴ）を使って、小学生とともに、ひまわり栽培及びジャンボカボチャ（アトランティックジャイアント）の苗を配布し、ジャンボカボチャコンテストの開催を目指す。
耕作放棄地に、小学生とともにひまわり畑を栽培景観で親しみ、迷路で楽しみ、油圧進化を目指す。また、ジャンボカボチャ栽培を推進し、カボチャコンテストの開催を目指す。
記者発表を行い情報発信を行いました。
令和5年4月29日

富士宮高校会議所プレゼンツSDGs実践マスマス元肥（げんぴ）を使って、富士宮をマスマス元気に！！

SDGs実践活動を行い、持続可能な社会創りを目指す



今後の目指す方向

「マスマス元肥」がどのような農作物等に適しているか。耕作放棄地でのチャレンジを通しての新たな特産物の創出及び広報活動

「マスマス元肥」で栽培した農作物からスイーツ等の製造、ひまわり栽培、ジャンボカボチャ栽培を通じて楽しくSDGs活動を実践する。

ビジネス、イベントとして成立させれば、耕作放棄地でのマスマス元肥（げんぴ）を活用した野菜栽培等、新たな特産物の創出等持続可能なSDGs炭素削減実践モデルになり、地産地消、食料自給率アップ、富士宮のさらなる魅力発信、活性化につながります。



富士宮高校会議所は、2016年2月に発足した富士宮を高校生の視点で、元気にしよう活動しているボランティア団体です。

